

【その他】

- 1) 福島正義：会則検討委員会報告，日本歯科審美学会ニュースレター，Vol.19 Summer，2009.
- 2) 大内章嗣，吉江弘正，野村修一，隅田好美，石川裕子，伊藤加代子：新潟大学公開講座介護予防のための「口腔機能の向上」入門講座，「口腔清掃介助の実際（実習）」，新潟，2009年7月7日
- 3) 鈴木 昭：高齢者の理解と支援のヒント—自己実現しつつある人々の特徴. 口腔生命福祉学科公開講座「健康長寿を支える口腔ケア」.平成21年10月27日，新潟市 駅南キャンパスときめいと.
- 4) 鈴木 昭：研究発表3 児童福祉分科会 助言・講評.平成21年度「社会福祉施設関係職員研究発表会，新潟県社会福祉協議会，平成22年2月26日.
- 5) 鈴木 昭：新潟県・新潟県社会福祉協議会 平成21年度福祉行政新任職員研修会，「地域福祉課題の析出と解決の手法（児童虐待をなくす地域づくり）」2009.6.5.
- 6) 鈴木 昭：長岡市要保護児童対策地域協議会スーパーバイザー 平成21年度，22年度.
- 7) 鈴木 昭：これからの子ども家庭福祉の在り方～子ども虐待予防への取組みをとおして～. 子ども家庭支援者養成研修(3級課程)，新潟市社会福祉協議会，平成22年2月26日.
- 8) 鈴木 昭：新潟県社会福祉協議会活動指針検討委員会，新潟県社会福祉協議会，平成21年度.
- 9) 隅田好美：新潟県難病相談支援センター研修事業ピアサポート研修—ステップアップコース—，新潟，2009年12月5日
- 10) Stegaroiu Roxana: [Considerations on the Application of 3D-Finite Element Analysis in Implant Prosthodontic Research.] Revista Romana de Stomatologie (Ro J Stomatol), 55(2):95-96, 2009. Romanian with English translation.
- 11) 高橋英樹：組織活動・能力開発.平成21年度社会福祉施設新任職員研修，新潟市，2009年6月12日・7月3日・7月23日
- 12) 高橋英樹：実習スーパービジョン論.日本社会福祉士会社会福祉士実習指導者講習会，新潟市，2009年11月29日
- 13) 五十嵐敦子 2009.10.27.新潟大学歯学部公開講座“健康長寿を支える口腔ケア”新潟大学駅南キャンパスときめいと口腔ケアとドライマウス・味覚障害——高齢者のQOLの向上を目指して——
- 14) 五十嵐敦子 2009.11.1 東京 都市センターホテル 第8回更年期と加齢のヘルスケア学会学術集会更年期からのヘルスケア——現状と今後の展望更年期女性と味覚・ドライマウス ラウンドテーブル 座長

- 15) 新潟ドライマウス学術研究会平成22年2月18日新潟グランドホテル一般演題 司会者 五十嵐敦子.
- 16) 八木 稔：むし歯予防とフッ化物応用について，やすらぎの保育園，阿賀野市，2009年10月8日.
- 17) 八木 稔：むし歯予防とフッ化物応用について，たちばな保育園，阿賀野市，2010年2月24日.

歯科総合診療部

【著書】

- 1) 小林哲夫，若林裕之，近藤一郎，山内恒治，八重島智子，岩附慧二，吉江弘正：ウシラクトフェリン経口投与による歯周病原細菌の抑制.『ラクトフェリン2009：』（第3回ラクトフェリンフォーラム実行委員会 編著），15-20頁，日本医学館，東京，2009.
- 2) 若林裕之，山内恒治，小林哲夫，八重島智子，岩附慧二，吉江弘正：ラクトフェリンの歯周病菌バイオフィルムに対する効果.『ラクトフェリン2009：』（第3回ラクトフェリンフォーラム実行委員会 編著），75-78頁，日本医学館，東京，2009.
- 3) 小林哲夫，吉江弘正：コラム 歯周疾患の活動性.『ザ・ペリオドントロジー』（和泉雄一・沼部幸博・山本松男・木下淳博 編集），110頁，永末書店，京都，2009.
- 4) 石崎裕子，福島正義：切削介入はいつ？；日本歯科理工学会雑誌29（1）9-12，2010年1月

【論文】

- 1) Detailed Process of Bone Remodeling after Achievement of Osseointegration in a Rat Implantation Model
Haga M, Fujii N, Nozawa-Inoue K, Nomura S, Oda K, Uoshima K, Maeda T. Anatomical Record 292:38-47, 2009
- 2) アンテリアガイダンスと咬合支持の回復を図った1症例
藤井規孝
日本補綴歯科学会誌1（3）:319-322, 2009
- 3) 骨縁下齶蝕に対して外科的挺出（再植）を適用した症例の臨床的検討
平山実里，藤井規孝
新歯界 688:1-3, 2009
- 4) Kobayashi T, Murasawa A, Komatsu Y, Yokoyama T, Yamamoto K, Ishida K, Abe A, Yamamoto K, Yoshie H: Serum cytokine and periodontal profiles in relation to disease activity of rheumatoid arthritis in Japanese adults. *J Periodontol*, in press.
- 5) Wakabayashi H, Kondo I, Kobayashi T, Yamauchi K,

- Toida T, Iwatsuki K, Yoshie H: Periodontitis, periodontopathic bacteria and lactoferrin. *Biometals*, in press.
- 6) Kobayashi T, Murasawa A, Ito S, Yamamoto K, Komatsu Y, Abe A, Sumida T, Yoshie H: Cytokine gene polymorphisms associated with rheumatoid arthritis and periodontitis in Japanese adults. *J Periodontol* 80: 792-799, 2009.
 - 7) Tabeta K, Shimada Y, Tai H, Ishihara Y, Noguchi T, Soga Y, Takashiba S, Suzuki G, Kobayashi T, Kobayashi T, Yamazaki K, Inoko H, Yoshie H: Assessment of chromosome 19 for genetic association in severe chronic periodontitis. *J Periodontol* 80: 663-671, 2009.
 - 8) Kobayashi T, Nagata T, Murakami S, Takashiba S, Kurihara H, Izumi Y, Numabe Y, Watanabe H, Kataoka M, Nagai A, Hayashi J, Ohyama H, Okamatsu Y, Inagaki Y, Tai H, Yoshie H: Genetic risk factor for periodontitis in a Japanese population. *J Dent Res* 88: 1137-1141, 2009.
 - 9) Wakabayashi H, Yamauchi K, Kobayashi T, Yaeshima T, Iwatsuki K, Yoshie H: Inhibitory effect of lactoferrin on growth and biofilm of *Porphyromonas gingivalis* and *Prevotella intermedia*. *Antimicrob Agents Chemother* 53: 3308-3316, 2009.
 - 10) Fujita H, Kobayashi T, Tai H, Nagata M, Hoshina H, Nishizawa R, Takagi R, Yoshie H: Assessment of 14 functional gene polymorphisms in Japanese patients with oral lichen planus: a pilot case-control study. *Int J Oral Maxillofac Surg* 38: 978-983, 2009.
 - 11) Nakajima T, Honda T, Domon H, Okui T, Kajita K, Ito H, Takahashi N, Maekawa T, Tabeta K, Yamazaki K. Periodontitis associated up-regulation of systemic inflammatory mediator level may increase the risk of coronary heart disease. *J Periodont Res.* 45(1) Feb: 116-122; 2010.
 - 12) Nakajima T, Yamazaki K. Periodontal disease and risk of atherosclerotic coronary heart disease. *Odontology* 97(2) Jul: 84-91; 2009
 - 13) Domon H, Takahashi N, Honda T, Nakajima T, Tabeta K, Abiko Y, Yamazaki K. Up-regulation of the endoplasmic reticulum stress-response in periodontal disease. *Clin Chim Acta.* 2009; 401: 134-140.
 - 14) Linlin HAN, Hiroko ISHIZAKI, Akira OKAMOTO Masayoshi FUKUSHIMA and Takashi OKIJI: Morphology Analysis of the Flowable Resins after Long-term Storage or Surface Polishing with a Mini-brush. *Dental Material Journal* 28 (3), 277-284, 2009
 - 15) 韓 臨麟, 石崎裕子, 福島正義, 興地隆史: 新規 HEMA 非含有 1 液性ワンステップ接着システムに関する研究 - 歯質処理面および接着界面の微細構造と辺縁封鎖性の評価 - ; 日保存誌 52 (3), 279 ~ 287, 2009
- 【商業誌】**
- 1) 小林哲夫, 近藤一郎, 若林裕之, 山内恒治, 八重島智子, 岩附慧二, 吉江弘正: 歯周病予防・補助的治療のためのラクトフェリン. 歯界展望特別号/めざせ! 健・口・美—未来に向けた歯科医療—第 21 回日本歯科医学会総会 歯界展望特別号, 371 頁, 医歯薬出版, 東京, 2009.
- 【研究費獲得】**
- 1) 歯科インプラントの生体防御反応と神経線維との関連性を探る
平成 21 年度新潟大学プロジェクト推進経費, 372,000 円
 - 2) 小林哲夫 (研究代表者): 歯周炎感受性に関与する Fc レセプター遺伝子と情報発現制御メカニズムの解析. 日本学術振興会科学研究費補助金, 基盤研究 (C) 課題番号 19592383, 2009.
 - 3) 小林哲夫 (研究分担者): 歯周炎・膠原病のリスク遺伝子多型分類に基づく RNA 発現とタンパク同定. 日本学術振興会科学研究費補助金, 基盤研究 (B) 課題番号 19390535, 2009.
 - 4) 平成 21-23 年度 科学研究費補助金基盤研究 B 21 年度分 490,0 千円 (直接経費) + 147,0 千円 (間接経費)
タイトル レギュラトリー細胞が歯周組織破壊に及ぼす影響—敵か味方か—
研究代表者 中島 貴子
課題番号 21390555
- 【学会発表】**
- 1) 骨縁下齶蝕に対して外科的挺出 (再植) を適用した症例の臨床的検討
平山実里, 藤井規孝, 小林哲夫, 中島貴子, 石崎裕子, 魚島勝美
平成 21 年 4 月 18 日, 新潟歯学会総会
 - 2) 早期臨床実習への窩洞形成修復実習の導入
韓 臨麟, 興地隆史, 吉羽永子, 小林哲夫, 藤井規孝, 小野和宏, 前田健康

- 平成 21 年 11 月 6 日, 第 28 回日本歯科医学教育学会学術大会
- 3) 新潟大学歯学部のカリキュラム評価
小野和宏, 八木 稔, 大内章嗣, 魚島勝美, 林 孝文, 齋藤功, 興地隆史, 前田健康, 藤井規孝
平成 21 年 11 月 6 日, 第 28 回日本歯科医学教育学会学術大会
 - 4) 新潟大学歯学部における教員研修 (FD) の概要と今後の方向性
安島久雄, 小野和宏, 井上 誠, 山村健介, 高木律男, 藤井規孝, 齋藤 功, 魚島勝美, 興地隆史, 前田健康, 松山順子, 田中 礼, 小田陽平, 島田靖子
平成 21 年 11 月 6 日, 第 28 回日本歯科医学教育学会学術大会
 - 5) 新潟大学医歯学総合病院歯科医師臨床研修における単独型プログラムの実際
藤井規孝, 小林哲夫, 中島貴子, 石崎裕子, 魚島勝美, 齋藤 力, 前田健康
平成 21 年 11 月 6 日, 第 28 回日本歯科医学教育学会学術大会
 - 6) Wakabayashi H, Kondo I, Kobayashi T, Yamauchi K, Toida T, Iwatsuki K, Yoshie H.: Lactoferrin inhibits biofilm and dental plaque of periodontopathic bacteria. 9th International Lactoferrin Conference. Beijing, China, October 18-22, 2009.
 - 7) Sugita N, Kobayashi T, Iwanaga R, Yoshie H: A Fc γ R IIb gene polymorphism associated with expression level on B lymphocytes the antibody response against *Porphyromonas gingivalis*. EUROPERIO6 (Poster presentations), Stockholm, Sweden, June 4-6, 2009.
 - 8) 小林哲夫, 小松康高, 横山智子, 石田光平, 山本幸司, 吉江弘正: 関節リウマチ活動度と歯周疾患重症度との関連性. 日本歯科保存学会 2009 年度秋季学術大会 (第 131 回), 宮城県仙台市, 2009.10.30, 日本歯科保存学雑誌 秋季学術大会プログラム: 25 頁, 2009.
 - 9) 若林裕之, 小林哲夫, 吉江弘正: ラクトフェリンによる歯周病原菌バイオフィルムの抑制. 日本歯科保存学会 2009 年度秋季学術大会 (第 131 回), 宮城県仙台市, 2009.10.29-30, 日本歯科保存学雑誌 秋季学術大会プログラムおよび講演抄録集: 42 頁, 2009.
 - 10) 横山智子, 小林哲夫, 山本幸司, 吉江弘正: 歯周炎感受性に関わる好中球 Fc \cdot RIIIb 遺伝子多型のプロテオーム解析. 第 52 回秋季日本歯周病学会学術大会, 宮崎県宮崎市, 2009.10.11, 日本歯周病学会誌 第 51 巻春季特別号: 90 頁, 2009.
 - 11) 杉田典子, 小林哲夫, 島田靖子, 平野絵美, 吉江弘正: 早産リスク因子としての歯周炎と免疫関連遺伝子多型の影響. 第 52 回春季日本歯周病学会学術大会, 岡山県岡山市, 2009.5.15, 日本歯周病学会誌 第 51 巻春季特別号: 129 頁, 2009.
 - 12) 小林哲夫, 山本幸司, 小松康高, 吉江弘正: 関節リウマチおよび歯周炎感受性に関わるサイトカイン遺伝子多型. 第 52 回春季日本歯周病学会学術大会, 岡山県岡山市, 2009.5.15, 日本歯周病学会誌 第 51 巻春季特別号: 129 頁, 2009.
 - 13) 米澤大輔, 宮下博考, 前川知樹, 高橋直紀, 前川知樹, 青木由香莉, 奥井隆文, 中島貴子, 田辺直仁, 多部田康一, 山崎和久: *Porphyromonas gingivalis* 感染が冠動脈疾患リスクに及ぼす影響. 第 42 回新潟歯学会総会, 新潟, 2009 年 4 月 18 日, 第 42 回新潟歯学会総会抄録集 p11, 2009.
 - 14) 中島貴子 心血管疾患患者の歯周病治療-踏まえておきたいエビデンス- シンポジウム「有病者・高齢者の口腔 (歯周病) 治療. 第 52 回春季日本歯周病学会学術大会, 岡山市, 2009 年 5 月 15 日, 日本歯周病学会誌第 51 巻春季特別号 p72, 2009.
 - 15) 米澤大輔, 宮下博考, 前川知樹, 高橋直紀, 青木由香莉, 奥井隆文, 中島貴子, 田辺直仁, 多部田康一, 山崎和久: *Porphyromonas gingivalis* 感染が冠動脈疾患リスクに及ぼす影響 1. 基本健康診査受診者における解析 第 52 回春季日本歯周病学会学術大会, 岡山市, 2009 年 5 月 15 日, 日本歯周病学会誌第 51 巻春季特別号 p127, 2009.
 - 16) 高橋直紀, 前川知樹, 青木由香莉, 宮下博考, 奥井隆文, 中島貴子, 多部田康一, 山崎和久: *Porphyromonas gingivalis* 感染が冠動脈疾患リスクに及ぼす影響 2. 歯周炎モデルマウスの病態解析 第 52 回春季日本歯周病学会学術大会, 岡山市, 2009 年 5 月 15 日, 日本歯周病学会誌第 51 巻春季特別号 p104, 2009.
 - 17) 前川知樹, 高橋直紀, 青木由香莉, 宮下博考, 奥井隆文, 中島貴子, 多部田康一, 山崎和久: *Porphyromonas gingivalis* 感染が冠動脈疾患リスクに及ぼす影響 3. 感染によるマウス組織・臓器への影響 第 52 回春季日本歯周病学会学術大会, 岡山市, 2009 年 5 月 15 日, 日本歯周病学会誌第 51 巻春季特別号 p105, 2009.
 - 18) 本田朋之, 宮下博考, 米澤大輔, 奥井隆文, (梶田) 奥井桂子, 前川知樹, 高橋直紀, 伊藤晴江, 中島貴子, 多部田康一, 山崎和久
歯周炎患者における *Porphyromonas gingivalis* に対する抗体価と高感度 CRP の関連性. 第 2 回日本口腔検査学会学術大会, 広島, 2009/10/4

- 19) 宮下博考, 米澤大輔, 本田朋之, 奥井隆文, (梶田) 奥井桂子, 前川知樹, 高橋直紀, 伊藤晴江, 中島貴子, 多部田康一, 山崎和久. 歯周炎患者における *Porphyromonas gingivalis* に対する抗体価と高感度 CRP の関連性. JADR Wuhan, China 2009/9
- 20) 中島貴子. 垂直性骨欠損への対応. 第 52 回日本歯周病学会秋季学術大会, 宮崎, 2009/10/11
- 21) 韓 臨麟, 石崎裕子, 福島正義, 興地隆史. 練和方式の違いが Self-adhesive Resin Cement の諸物性に与える影響. 第 53 回日本歯科理工学会学術講演会, 東京, 2009.4.11-12. 歯科材料・器械 28 (2), 132 ページ, 2009
- 22) 石崎裕子, 韓臨麟, 興地隆史, 福島正義: 長期水中浸漬がフロアブルレジンの曲げ強さに与える影響. 日本歯科保存学会 2009 年度春季学会 (第 130 回), 札幌, 2009-6-11 ~ 12
- 23) 石崎裕子, 韓臨麟, 興地隆史, 福島正義: 練和システムの違いが合着用セメントの物性に与える影響. 日本歯科保存学会 2009 年度秋季学会 (第 131 回), 仙台, 2009-10-29 ~ 30
- Kurokawa K, Uoshima K.: Comparison of two methods for testing restored tooth failure resistance. *Revista Romana de Stomatologie (Ro J Stomatol)* 55(3): 218-224, 2009.
- 3) Yoshida K, Uoshima K, Oda K, Maeda T.: Influence of heat stress to matrix on bone formation. *CIOR*, 20:782-790, 2009.
- 4) Fujita H, Kobayashi T, Tai H, Nagata M, Hoshina H, Nishizawa R, Takagi R, Yoshie H.: Assessment of 14 functional gene polymorphisms in Japanese patients with oral lichen planus: a pilot case-control study. *Int J Oral Maxillofac Surg* 38: 978-983, 2009.
- 5) Kodama Y, Seo K, Tanaka R, Arashiyama T, Ajima H, Takagi R.: Placement of mandibular nerve block using computed tomography to locate the foramen ovale in a patient with severe dislocation after segmental mandiblectomy. *Br J Oral Maxillofac Surg* 47: 407-408, 2009.
- 6) Haga M, Fujii N, Nozawa-Inoue K, Nomura S, Oda K, Uoshima K, Maeda T.: Detailed Process of Bone Remodeling after Achievement of Osseointegration in a Rat Implantation Model. *Anatomical Record* 292:38-47, 2009.
- 7) Nakasone N, Kubota T, Hoshino C, Nohno K, Itagaki M, Shimizu T, Yoshie H.: Differential gene and protein expression of tissue inhibitors of metalloproteinases (TIMP)-3 and TIMP-4 in gingival tissues from drug induced gingival overgrowth. *Arch Oral Biol* 54: 634-641, 2009.
- 8) 藤井規孝: アンテリアガイダンスと咬合支持の回復を図った 1 症例. *日本補綴歯科学会誌* 1(3):319-322, 2009.
- 9) 荒井良明: 半側咀嚼筋スパズムに咬合挙上した可撤性義歯による補綴学的療法の奏功した 1 症例. *日本補綴会誌* 1: 195-198, 2009.
- 10) 敦井智賀子, 荒井良明, 谷口裕重, 矢作理花, 堀一浩, 井上 誠: 下顎運動時頭頸部協調運動の筋電図学的評価. *顎機能誌* 16: 112-123, 2010.
- 11) 久保田健彦: 歯周炎組織破壊における生体酵素動態と歯周炎感受性診断. *日本歯科保存学会雑誌* 53 (1) : 6-8, 2010.
- 12) 小田陽平, 小林正治, 永井正紀, 泉 直也, 芳澤享子, 朝日藤寿一, 齋藤 功, 齊藤 力: 口蓋裂がある患者に対する上下顎移動術後の顎骨安定性について. *口蓋裂会誌* 34 (3) : 253-260, 2009.
- 13) 小田陽平, 芳澤享子, 小林正治, 泉 直也, 齊藤 力: 両側性口唇口蓋裂を伴った先天性絞扼輪症候群の 1

【研究会発表】

石崎裕子, 中島貴子, 小林哲夫, 藤井規孝, 魚島勝美. 歯科医師臨床研修における医療事故防止活動-危険予知トレーニングの試み-総合歯科医療に関する学術研究セミナー 2009, 松戸, 2009-7-19 ~ 20

【その他】

- 1) 座長 (藤井規孝)
平成 21 年 7 月 19 日, 総合歯科医療に関する学術研究セミナー 2009
平成 22 年 1 月 30 日, 日本補綴歯科学会関越支部学術大会
- 2) 小林哲夫, 藤井規孝, 中島貴子, 石崎裕子: 平成 21 年度歯科医師臨床研修症例報告集第 10 号, 新潟大学歯学総合病院, 新潟県新潟市, 2010.3.26.

インプラント治療部

【論文】

- 1) KaKu M and Uoshima K.: Implant System Selection and Treatment Planning. *WCOI Year Book 2009 (CD version)*, 57-63, 2010.
- 2) Juan Marcelo Rosales Rocabado, Roxana Stegaroiu, Farhana Sharmin, Kitamura E, Al-amin Bhuiyan,